



2024年2月13日

各位

会社名 株式会社 J P ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 坂井 徹
(コード番号: 2749 プライム市場)
問合せ先 執行役員 都志 謙治
(TEL 052-933-5419)

通期業績予想及び配当予想の修正（上方・増配修正）に関するお知らせ

当社は、2023年5月11日に公表しました2024年3月期の連結業績予想及び期末配当予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2024年3月期通期（2023年4月1日～2024年3月31日）連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 36,390	百万円 3,820	百万円 3,842	百万円 2,497	円 銭 29.32
今回修正予想（B）	37,581	4,363	4,314	2,723	31.96
増減額（B－A）	1,191	543	472	226	－
増減率（％）	3.3	14.2	12.3	9.1	－
（ご参考）前期実績 （2023年3月期）	35,507	3,667	3,745	2,698	31.18

【修正の理由】

2024年3月期第3四半期連結累計期間の業績を踏まえ、上方修正するものであります。

（業績の詳細につきましては、本日開示いたしました「2024年3月期第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」をご参照ください。）

当社の2024年3月期通期業績予想におきましては、新規施設の受託・開設、バイリンガル保育園やモンテッソーリ式保育園の導入、幼児学習プログラムの拡充等により、「選ばれ続ける園・施設づくり」の推進による児童数の増加等により、売上高においては期初の業績予想に対して、3.3%の増収を見込んでおります。

営業利益および経常利益においては、新規施設の開設・受託及び児童数の増加等による売上高の増加に加え、原材料価格の高騰に向けた発注体制の見直し等による各種対応を図ったことで、当初の業績予想に対して営業利益14.2%増、経常利益12.3%増となる見込みです。

親会社株主に帰属する当期純利益においては、上記の効率的な運営体制の確立とともに補助金獲得の最大化を図ったことで、当初の業績予想に対して9.1%増となる見込みです。

これらの取り組みは、今期のみならず来期に向けた収益改善ならびに受入児童の拡大への対応でもあり、各地域における「選ばれ続ける園・施設づくり」として成果をあげており、

来期以降の業績拡大に大きく影響するものと考えております。

また、保護者の困りごとを捉えたフードビジネスや保育園で必要な備品の提供サービス、新たな教育プログラムを取り入れた英語に特化した「バイリンガル保育園」や「モンテッソーリ式保育園」の開設ならびに外国人を主軸とした人材紹介・派遣、外国人特定技能者の支援事業を展開する株式会社ワンズウィルの全株式を取得する株式譲渡契約を2023年11月27日に締結し、国内の労働力不足に向けた外国人の派遣・紹介事業の展開と合わせて、当社の子育て支援のノウハウと連携し、今後政府による異次元の少子化対策への対応に向け、保育士・栄養士・介護士などの専門人材についても人材紹介・派遣事業を新たに展開することで既存事業との連携により、持続的な成長に繋げてまいります。

なお、今後の業績動向につきましては引き続き注意深く見極めてまいります。

2. 配当予想の修正について

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2023年5月11日時点)	0円00銭	6円00銭	6円00銭
今回修正予想		8円00銭	8円00銭
当期実績	0円00銭		
(参考)前期実績 (2023年3月期)	0円00銭	6円00銭 (普通配当5円00銭) (記念配当1円00銭)	6円00銭 (普通配当5円00銭) (記念配当1円00銭)

【修正の理由】

当社は、企業体質の強化を図りながら、持続的な企業価値の向上に努めております。

株主の皆様への利益の還元策としては、配当による成果の配分を基本に考え、毎期の連結業績、投資計画、手元資金の状況等を総合的に勘案しながら、安定的かつ継続的に配当を実施する方針です。

2024年3月期の1株当たりの期末配当につきましては、当該基本方針に基づき、期末配当予想を1株当たり2円増配の8円とさせていただきます。

※業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上